

函館国際水産・海洋都市構想の沿革

2002 (平成14) 年6月	函館海洋科学創成研究会 設立
2003 (平成15) 年3月	函館国際水産・海洋都市構想 策定
6月	都市エリア産学官連携促進事業 (一般型) 採択
6月	函館国際水産・海洋都市構想推進協議会 設立
6月	海藻技術研究所アルガテック kyowa 開所
8月	マリンフロンティア科学技術研究特区 認定
2004 (平成16) 年4月	公立はこだて未来大学共同研究センター 設置
4月	函館工業高等専門学校地域共同テクノセンター 供用開始
5月	北大マリンフロンティア研究棟 供用開始
6月	地域再生計画「函館国際水産・海洋都市構想の推進」 認定
7月	21世紀COEプログラム (北大水産科学研究科) 採択
2006 (平成18) 年3月	都市エリア産学官連携促進事業 (発展型) 採択
4月	北大マリンサイエンス創成研究棟 供用開始
4月	函館市産学官交流プラザ 供用開始
2007 (平成19) 年4月	函館市臨海研究所 開所
2008 (平成20) 年2月	函館港弁天地区ふ頭整備事業着工記念式典 開催
2009 (平成21) 年4月	一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構 設立
5月	地域再生人材養成事業 採択
6月	地方の元気再生事業 採択
7月	知的クラスター創成事業 (グローバル拠点育成型) 採択
7月	地域再生計画「人材養成事業」 認定
12月	北海道大学大学院水産科学研究院および水産学部と函館市との 包括連携協定締結
2010 (平成22) 年4月	新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成 開講式
6月	国際水産・海洋総合研究センター (以下 「海洋研究センター」 という。) 基本設計 着手
7月	北海道大学北方生物圏フィールド科学センターと函館市が包括 連携協定
2011 (平成23) 年4月	水産研究センター実施設計 着手
9月	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区 指定申請
12月	北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区 指定
2012 (平成24) 年4月	(一社) 北海道食産業総合振興機構 (フード特区機構) 設立
4月	フード特区機構へ、推進機構から職員派遣
7月	第1回はこだて海洋エネルギー勉強会開催

- 2013（平成25）年8月 海洋研究センター入居者募集
10月 海洋研究センター入居機関決定
10月 海洋研究センター入居者追加募集
- 2014（平成26）年2月 海洋研究センター追加入居者決定（研究室満室）
3月 推進機構が海洋研究センターの指定管理者に決定，本協定
3月 海洋研究センター本体工事竣工，引渡
4月 海洋研究センター市直営による準備期間（4月5月）
5月 推進機構事務室移転
（産学官交流プラザから海洋研究センターへ）
6月 海洋研究センター供用開始，開所式
- 2015（平成27）年4月 函館市産学官交流プラザを北海道大学へ無償譲渡
- 2016（平成28）年5月 日本財団の助成「海の宝をめぐる学びと体験 マリン・ラーニング」採択（北大）
- 2018（平成30）年4月 国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）と函館市、推進機構の3者による包括連携協定を締結
7月 国立釜慶大学校水産科学研究所との連携協定締結